

清華大学（中国）、浙江大學（中国）、延世大學（韓国）と連携 千葉大学、農学＋工学のイノベーション人材を育成

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択

千葉大学が申請した事業「植物環境イノベーションプログラム」が、平成28年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」に採択されました。

■事業の概要

植物環境に関わる産業は、**6＋4次産業**として進化することが予測できるため、清華大学・浙江大学・延世大学の3大学と連携し、園芸学（農学）と工学の両方の領域に長けた人材で、かつ**日本－中国－韓国の3国で植物環境のイノベーションを企画・提案・実施できる人材**を育成し、将来的には、技術立国日本の最先端技術で、**都市における6＋4次産業化を実現し、「新たな植物環境イノベーション」**に資する人材となることを目標にします。



■交流プログラムの内容

①都市における新しい6＋4次産業を担う人材を育成

農林水産省が推奨する「6次産業化」は、産業の変革を伴う農山漁村の活性化を目指しています。本事業では、これを都市で展開し、サービスデザインの手法を取り入れ、都市農業、都市緑化の新たなビジネスを創出することを目的として、6次産業に4次産業のサービス・イノベーションを付加した、 $6 + 4 = 10$ 次産業を創出し、その未来を支える人材を育成します。

②異なる領域のダブル・ディグリー（農学＋工学）のイノベーション人材（修士・博士）の育成

学部と大学院で異なる2つの専門の学位を取得できるSwitch Major Double Degree Program（SMDD）を構築します。

③多様な学位を選択できるトリプル・オプション・ディグリー・プログラムの構築

ダブル・ディグリー（DD）、SMDDにプラスして、新たな枠組みとして入学時と修了時の大学が異なり、学位は修了時の大学から授与され、学習証明を入学時の大学（及び交換留学先の大学）より授与されるトランスファラブル・ディグリー（TD）の設置を目指します。

④大学院における教養を涵養する総合科学のワールド・スクールでの実施

本学と海外の大学で共同して構築するプログラムには、大学院レベルでの幅広い教養を涵養するため、専門外の学生が履修可能な総合科学科目を設置します。なお、実施母体をワールド・スクールとして位置付け、広く世界に向けて発信していきます。

■文部科学省「大学の世界展開力強化事業」とは

国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力、さらには海外とのネットワークを強化するため、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の受入れを行う国際教育連携の取組を支援する事業です。

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
千葉大学学務部グローバル大学事業推進事務室 副事務室長 高尾
TEL: 043-290-2158 メール: yokki-fukukikaku@chiba-u.jp

植物環境イノベーション・プログラム

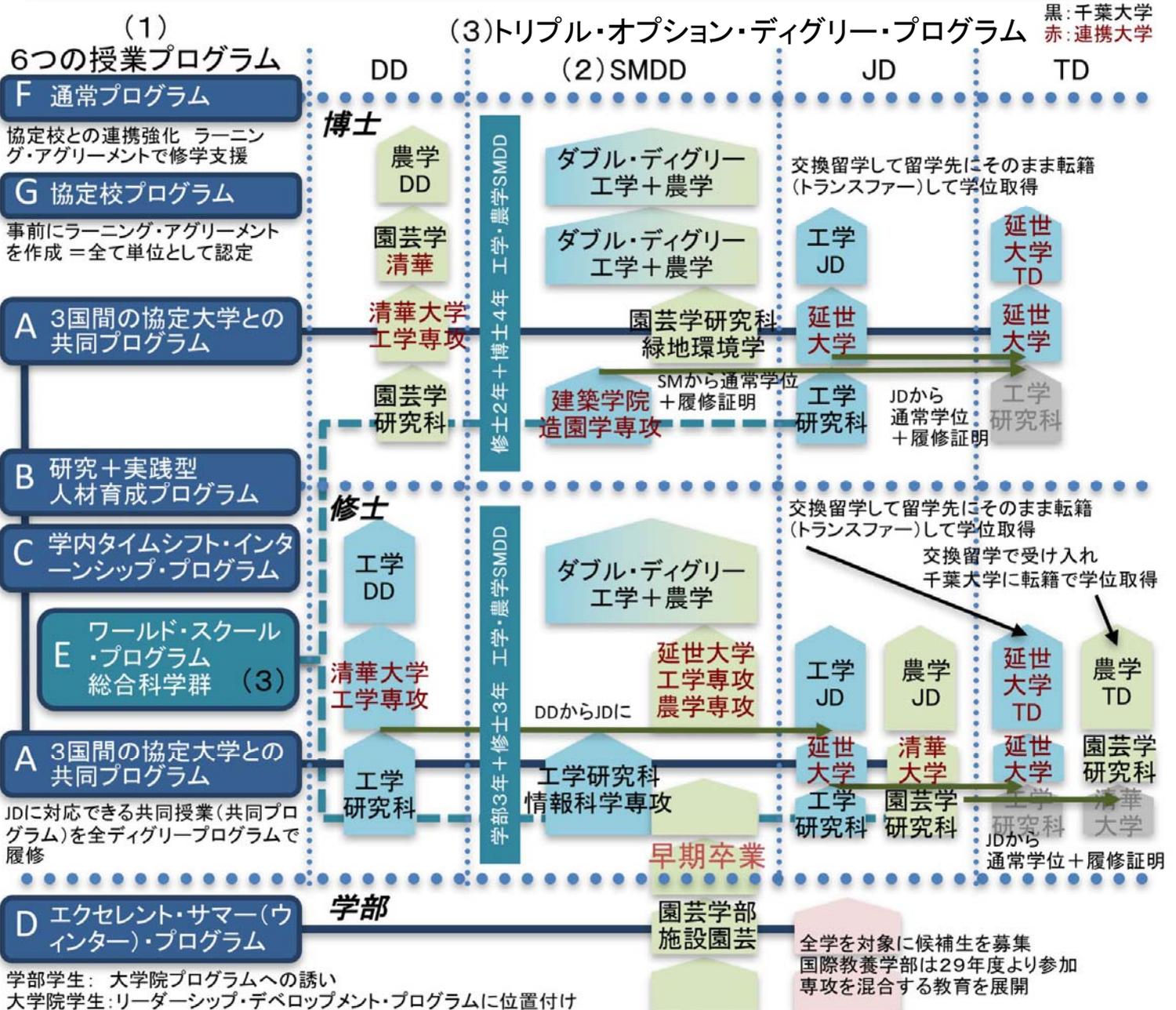
Plant & Environment Innovation Program

目的：(1)植物をとりまく未来の(6+4)次産業を担う人材を育成

方法：(2)異なる領域のダブル・ディグリー(農学+工学)のイノベーション人材

特徴：(3)多様な学位を選択できるトリプル・オプション・ディグリー・プログラム

発展：(4)大学院における教養を涵養する総合科学のワールド・スクールでの実施



多様なディグリー-DD(SMDD)+JD+TDを設置 511名を交換留学

植物環境イノベーション=農業6次産業+サービス・サイエンス=園芸学+工学
植物環境デザイン=植物工場+都市緑化=栽培・施設園芸+デザイン

3つのダブル・ディグリーを設置 69名を交換留学



植物環境デザインプログラム

大学の世界展開力強化事業「キャンパス・アジア」中核拠点支援 H22-26
旧: 日中韓等の大学間交流を通じた高度専門職業人育成事業